

STAFF INTERVIEW



BANK OF JAPAN

氏名：**秋山明子**

Akiko Akiyama

PROFILE DATE

所属：本店営業所施設グループ

担当：建築技師

入行：2015年

趣味：ゴルフ



Q1. どうして日本銀行を選んだのですか？

私は2015年に建築技師として入行しました。学生時代に歴史的建造物の保存方法について勉強してきて、重要文化財の本店本館について、美術館などとして保存するのではなく、現役のオフィスとして使い続けているのが面白いと感じました。ちょうどその時期に本店本館の免震工事に着手するというニュースを耳にしまして、その点にも興味を惹かれました。

新しい建物を建てるのも良いですが、既存の建物を活かして長く使っていくというのは、とてもサステナブルな発想ですね。支店も建てられてから時間が経っている建物が多いですが、どこもその当時の技師が考え抜いて造られていることが、当時の資料や図面を見るとよくわかります。それを、現代のニーズに合わせてアップデートしていくことが重要だと思っています。

Q2. 日本銀行では、どのような仕事をしてきましたか？

私は建築技師ですが、最も印象に残っているのは、データセンターの増築です。日本銀行には伝統的な建物も多いのですが、新しい時代のニーズに応えるためには、必要に応じてこれまでにない建物を新築する必要もあります。ただ、中央銀行としての役割を果たすための施設として、セキュリティを重視し、頑健なものにしなければならないということは、本店本館の時代からずっと変わらない伝統です。こうした伝統を最新の建物の建築に活かしていく、というチャレンジングな取り組みでした。

もちろん、大変なこともありました。日本銀行が運営するシステムには、日本銀行金融ネットワークシステム(日銀ネット)を始め、絶対に止めてはいけないものが多数存在します。もちろん、サーバを物理的に傷つけてはいけないですし、電波障害のようなことが起きても、大変なことになります。たくさんの方が出入りする中で、セキュリティの確保にも気を遣わなければいけません。こういった課題について、ユーザである日本銀行のシステム部門の担当者と意見交換しながら、設計業者・施工業者の方々と必要な調整を繰り返していくという日々でした。

Q3. 日本銀行の職場の雰囲気は如何ですか？

非常に雰囲気良く、楽しく過ごすことができていると思っています。実際に建物を使用しているユーザの方々とずっと一緒に仕事をしていくので、そうした人たちの顔を見ながら仕事ができ、直接感謝の言葉をかけてもらえるのは、嬉しいことです。

また、先日、先輩技師の送別会があったのですが、普段は真面目に働いている技師たちも、そういうところでは盛り上がるという意外な一面もありますね。加えて、仕事のメリハリが効いているので、ワークライフバランスといった観点からも満足しています。



(2026年5月掲載)